



## 医学研究科が産学協働で「ロコモティブシンドローム抑制に向けた健康状態計測方法の研究」プロジェクトを開始

### 概要：

北海道大学大学院医学研究科と株式会社日立ハイテクノロジーズ イノベーション推進本部は、産学協働プロジェクト「ロコモティブシンドローム抑制に向けた健康状態計測方法の研究」を開始します。

現在、日本は世界一の長寿国であると同時に、「健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間（健康寿命）」の延伸が社会的な課題となっています。ロコモティブシンドロームは、骨や関節、筋肉などの「運動器の障害」であり、高齢者が要支援・要介護となる原因の第1位（約25%）とされていることから、ロコモティブシンドロームの予防啓発が極めて重要と考えられます。

そこで、本プロジェクトでは、ロコモティブシンドロームの予防と早期検出を目的とした「健康状態計測方法」の研究を開始します。なお、高齢者の運動器の健康状態だけでなく、運動機能の計測全般を対象とするため、アスリートなどスポーツ関係者に有意義な計測方法についても調査します。

これにより、いつ、何を、どのように、どれだけ計測してフィードバックすれば、ロコモティブシンドロームの予防や健康寿命の延伸に有効であるか、あるいはスポーツ選手の能力向上に有効であるか等について、明らかにする予定です。

### 開始時期：

2016年5月20日（金）

### お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院医学研究科 整形外科学分野

教授 岩崎 倫政（いわさき のりまさ）

TEL：011-706-5933 FAX：011-706-6054 E-mail：[niwasaki@med.hokudai.ac.jp](mailto:niwasaki@med.hokudai.ac.jp)